

第二期 和歌山県医療費適正化計画（計画期間：平成 25 年度～29 年度）の実績に関する評価の概要

目標・施策の進捗状況

健康の保持・推進に関する目標の進捗状況

項目	平成 29 年度の目標値	平成 28 年度（直近年度）の状況
① 特定健康診査の実施率	70%以上	41.4%
② 特定保健指導の実施率	45%以上	22.8%
③ メタボリックシンドロームの該当者・予備群の減少率	25%以上 (平成 20 年度と比較して)	2.2%
④ たばこ対策	13.2% (成人喫煙率)	15.6%

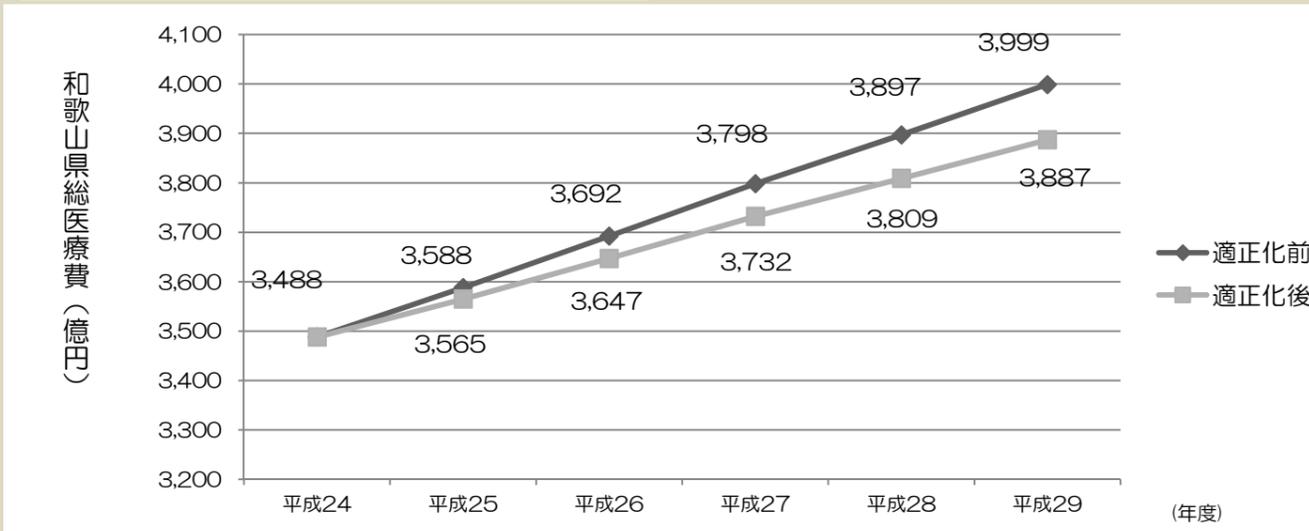
※ 国の方針により平成 28 年度の数値を用いる

医療の効率的な提供の推進に関する目標の進捗状況

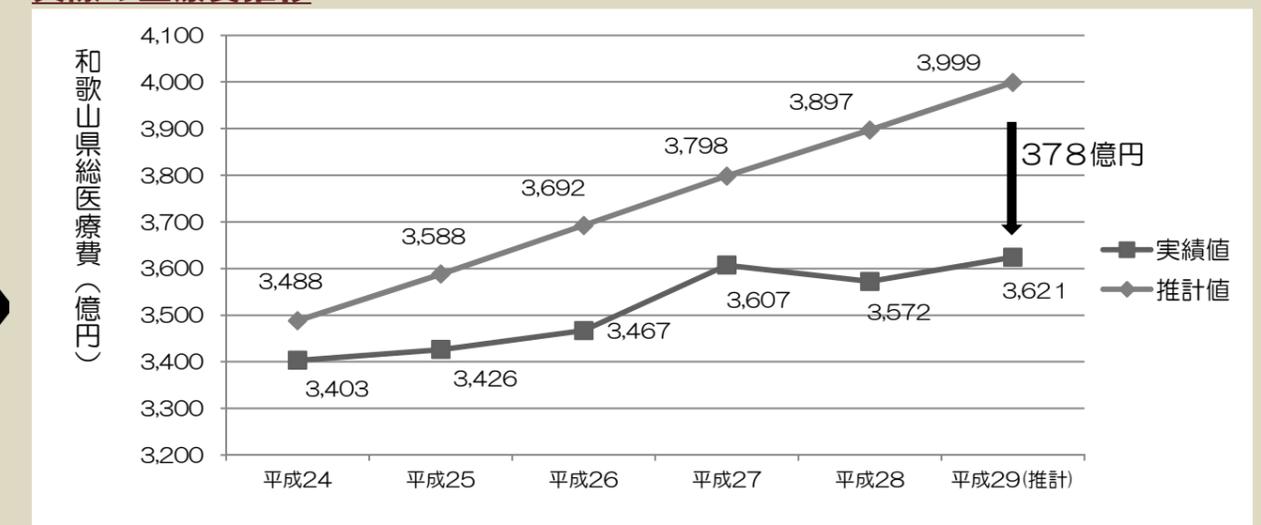
項目	平成 29 年度の目標値	平成 28 年度（直近年度）の状況
⑤ 平均在院日数	30.2 日	28.6 日

※ 国の方針により平成 28 年度の数値を用いる

第二期和歌山県医療費適正化計画策定時



実際の医療費推移



今後の政策目標

県民の健康の保持増進に関する政策目標

項目	目標値
特定健康診査受診率	70%以上
特定保健指導の実施率	45%以上
メタボリックシンドロームの該当者・予備群の割合	25%減（平成 20 年度比）
成人喫煙率	10.4%
がん検診受診率 (胃がん・肺がん・大腸がん・子宮頸がん・乳がん)	すべて 70%
糖尿病の 40 歳以上の一人当たり入院外医療費の減少	全国平均との差を半減 (全国 1,852 円 和歌山県 2,566 円)
糖尿病性腎症による年間新規透析患者数	128 人
市町村国保におけるデータヘルス計画の策定数	全市町村

医療の効率的な提供の推進

項目	目標値
後発医薬品の使用割合	80%以上
3 医療機関以上から投与されている患者の薬剤費額（平成 25 年度 13,532 千円）の減少	半減
15 剤以上の投薬を受ける 65 歳以上の患者の薬剤費額（平成 25 年度 917,614 千円）の減少	半減

政策目標に基づく医療費の見通し

適正化の効果 66 億円(2023 年度)

3,881 億円→3,815 億円
(適正化前) (適正化後)

後発医薬品の普及	約 29 億円
特定健診等の実施	約 1 億円
糖尿病の重症化予防	約 30 億円
重複投薬の是正	約 1 億円
複数種類医薬品是正	約 5 億円